



易は、𠄎の変形です。丁はこの字の音を表わす符号だけの存在です。意味は𠄎にあります。日の光のふりそそぐ有様を表わした部首です。音はトウ。普通はなま

ってチョウと発音します。tô → tyô。濁ってジョウ。tyô → zyô。また yô ヨウと発音されることもあります。

湯は、“日光であたためた水”ということで“日なた水”が本義です。今は、火であたためたものを湯と言いますが、昔は、太陽光線を利用したことが、字の成り立ちから察せられます。

陽は、阝が崖の意味の部首ですから、“日あたりの良い崖”が本義です。山の南側は、日あたりの良い斜面になっていますから、これを「山陽」と言います。中国山脈の南側を山陽地方と呼ぶのは、陽の本義にかなっています。ついでに言いますと、川では北側が日あたりの良い斜面になっていますので、「河陽」と言うのは、川の南側ではなくて、北側なのです。

陽は、南斜面の意味から“日なた”の意味に用いられ、さらに“日そのもの”を指すようになり、「太陽」という言葉が生まれたのです。

場は、“日あたりの良い土地”というのが本義です。今は、単に“土

地”または“ところ”の意味に使われています。牧場。劇場。

幅は、構成がちょっと違います。申は𠄎で、両手(𠄎)で棒をまっすぐに引きのばす意味の字で「伸(のばす)」の本字です。𠄎は、音の同じ「長」の意味を借用して、“長く引きのばす”意味を表わしたのが暢です。流暢(のびのび、すらすら)。

腸も、𠄎は長を借用しています。人体で最も長くのびのびと続いているものが腸です。

傷の𠄎は、𠄎の略で、“日にあたる”のではなくて“矢にあたる”こと。傷は、“矢にあたって受けたきず”が本義。音は矢易で syô。